

統一テーマ

生きる力を育む学校の創造

－ かしこく やさしく たくましい子どもの育成 －

高度情報化や少子高齢化，そして国際化が進む現代において子どもをとりまく社会環境は，大きく変貌を続けています。その中で，新しい知識・情報・技術は，政治・経済・文化をはじめ，社会のあらゆる領域での活動基盤として飛躍的に重要性を増してきています。また，一方で，社会の傾向としては，人間関係の希薄化，過度に経済性や効率性を重視する傾向，大人優先の社会風潮などの状況が見られるとの指摘があります。

このような時代に主体的・創造的に対応していくためには，子どもに「生きる力」を支える確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成することが求められています。このことは知・徳・体のバランスのとれた教育がますます重要となっていることを示しています。

教育は，子どもをとりまく状況や社会の要請を見極めて進めなければなりません。現実には，いじめや不登校，暴力行為や少年犯罪等，子どもに関わる様々な問題が発生し，その問題の根底には人間関係の希薄さや自尊意識の低下が少なからず影響しているように思われます。だからこそ，今私たちは，改めて学校の果たす役割を再考し，共有する必要があります。学校とは「友と学び，遊び，助け合い，語らうなど他者と関わり合いの中で，充足感や成就感を味わいながら希望をもって楽しく過ごせる場所」であることを子どもに示していかなければならないと考えています。また，信頼される学校として家庭や地域社会とも情報交換を密にし，望ましい学校像をめざして意図的・計画的に教育活動を推進していかなければなりません。

私たち教職員は，「生きる力」を育むために，各諸学校の状況に応じた様々な取り組みを進めていく必要があります。また，今後も時代の流れを見極め，その時代にふさわしい教育実践が期待されていることを忘れてはなりません。

こうした状況をしっかりと見定め，本協議会では，「生きる力を育む学校の創造」を統一テーマに，「かしこく やさしく たくましい子どもの育成」をめざして，主体的に本テーマの実現に取り組んでいくことを決意しました。